

◎各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は令和5年12月発行予定です。

「まちかど」カラー版は、品川区ホームページからご覧いただけます。<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>

裏面のQRコードよりアクセス可能です。

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

第218号

令和5年(2023)10月発行

発行・事務局

○荏原第一地域センター○

小山3-14-1 (〒142-0062)

TEL 3786-2000

FAX 3786-5385

花めぐり

キンモクセイ

9月から10月のちょうど秋口に咲きます。そのため、この独特な香りによって秋の訪れを感じるという人も多いと思います。

キンモクセイの開花期間は短く、咲いて一週間くらいで散ってしまいます。香りで気がつくこともありですが、道に落ちていた小さな黄色い花を見つけて、見上げるとキンモクセイがあったということもあります。

キンモクセイは葉と枝が密に交差するので住居の目隠しに選ばれる木でもあります。密なためにスズメバチの巣ができていたことがあります。お気を付けください。

旧中原街道の西五反田六郵便局の手前、櫻井クリニックの角のお地蔵様の背後にキンモクセイ(黄色)とギンモクセイ(白)の花が咲いています。お地蔵様の横の水鉢に黄色と白のお花が散る景色は素敵です。

(荏原二丁目町会・伊藤 茂実)



旧中原街道の西五反田六郵便局の手前

今年度の7月に開催された区民まつりでは荏原第一地区区民まつり実行委員長を務められました。4年ぶりの開催でした。

『地域環境部』は2016年に「品川区みどり」と花のボランティア活動に申請し認定後、児童遊園の花壇の整備と管理を任されています。申請の経緯を部長の友枝さんに聞いてみましたところ、以前、仕事帰りに他町会の児童遊園を通った際、とても綺麗な花が花壇に植えられており、『町会管理』

小山四丁目「地域環境部」癒しの活動



という立札が目に残ったそうです。当時の小山四丁目児童遊園の花壇にはお花はなく、殺風景だったとのこと、お花を植えて癒しの場にできないかと思案し、調べてみたそうです。

児童遊園は公園課の管轄ですが、「みどり」と花のボランティア活動に申請すると『花壇を利用した花苗等の植付けおよび維持管理』の活動について、運営が「町会管理」となります。

認定後、婦人部やボランティアさんと集い、花壇の手入れの準備を始め、シャベル・くま手・じょうろ・ホース等の道具も揃えて、道具入れも設置しました。

友枝部長念願の『地域環境部』が誕生し、手作りの立札も立てました。コロナ禍、活動は控えていましたが、現在は月一回、日曜日の午前中にメンバー5、6人で花の植え替えや草取り等を行っています。

近隣のグループホームの方々の散歩コースにもなっています。

「きれいな庭園、足をとめて、だね、何のお花かしら」



小山四丁目児童遊園の花壇

皆様お変わりありませんか。暑かった夏を乗り切ることができましたでしょうか。さて今回、健康づくり推進委員会のご紹介をします。健康づくり推進委員は14町会1名ずつ14名在籍しています。定例会のストレッチ体操の後にはお楽しみプログラムを開催しています。5月は「合わせ俳句」、6月は「ゲートボール」、7月は「23区脳トレ地図」、8月は「ボッチャ」を楽しみました。9月は「ボッチャ」は、15名の会員が参加し、「ひまわり組」と「カトレア組」に分かれて三回戦まで行い、白熱したゲーム展開となりました。汗を流したあとの皆様の笑顔は、ひと際若々しく、輝いておりました。(荏原第一地区健康づくり推進委員会 代表・吉田 久美子)

健康づくり推進委員会活動だより

と会話もはずみ、癒しの場になっています。年度末には年間花壇管理実績報告書を区に提出しています。『地域環境部』の活動は花とみどりあふれるうるおいのある街並みづくりに貢献いち役を担っています。(小山四丁目町会・東 美佐栄)

町会活動紹介

防火防災消火隊部の活動について (荏原二丁目町会)

元気ですかーッ！元気があればなんでも出来るッ！私達は10名の部員で活動しており、毎年10月の「総合防災訓練」にC級ポンプを持参して「一斉放水」に参加しています。「区内一斉防災訓練」と「防災避難場所訓練」では、部員が率先垂範して、町会会員と「自助・共助」の“絆”を深めるべくコミュニケーションを大切にしています。また、町会の常任理事さんや荏原イーグルスさんにご協力いただき「年末夜警」を行っています。

今回ご紹介したいのは「子ども夜警隊」の活動です。発足のきっかけは2011年3月の「東日本大震災」です。被災地の避難場所で子ども達が自ら活躍し避難者の心を癒していたのをニュースで観て、私達の町会でも“子ども達が『火の用心!』を行い、年末の忙しい夜も「活気あふれる、癒される」町会にしよう”との思いからでした。コロナ禍で中止していましたが、再開したのでぜひたくさんのお子さんの参加を希望しています。

今年は「関東大震災」からちょうど100年、「東日本大震災」から12年になりますので、あの未曾有の体験を忘れないためにも、町会会員の皆様と子ども達と協力しあって、活気ある町会にしていきたいと思っています。行くぞーッ！1・2・3 ダーッ！(荏原二丁目町会副会長兼防火防災消火隊部部長・鈴木秀一)